

SDGsに関するアンケート調査 報告書

令和5年9月

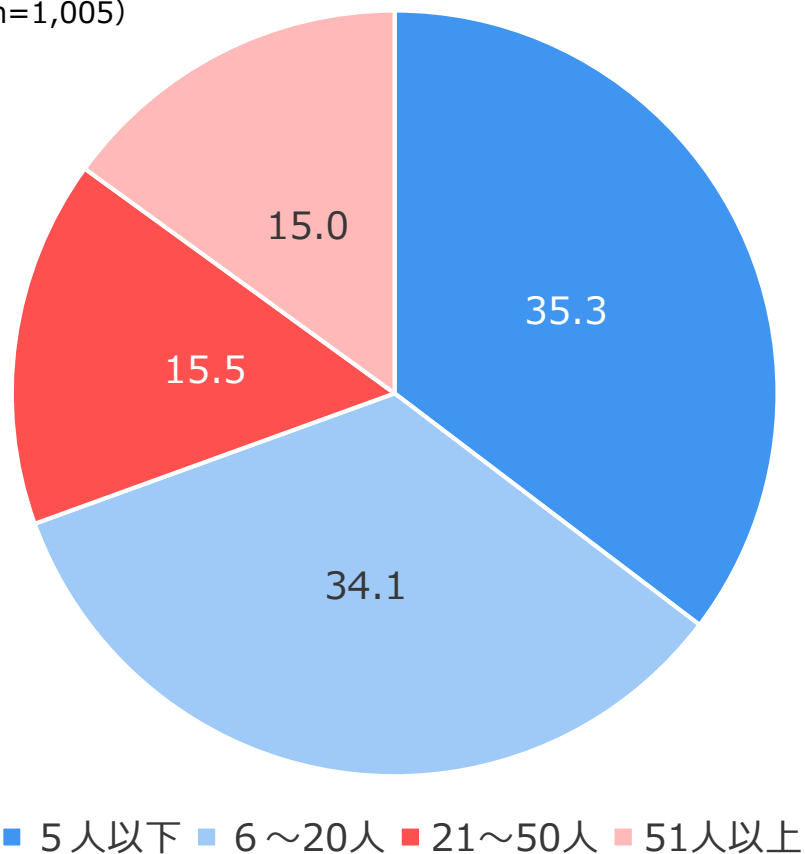
1. 調査の実施概要

項目	内容
1.調査名称	<ul style="list-style-type: none">令和5年度SDGsに関するアンケート調査
2.調査対象	<ul style="list-style-type: none">長岡商工会議所 会員事業者 2,622事業所（令和5年6月1日時点）
3.調査期間	<ul style="list-style-type: none">2023年6月16日～7月14日
4.調査方法	<ul style="list-style-type: none">上記会員事業所に調査票を郵送のうえ、①Web（Googleフォーム）を通じて回答、または②調査票に記入のうえ郵送で回答
5.回収結果	<ul style="list-style-type: none">有効回答数（有効回答率） 1,069件（40.7%）
6.その他	<ul style="list-style-type: none">集計結果については、四捨五入の関係で内訳の合計が100%にならない場合がある集計結果については、無回答を除いたものである

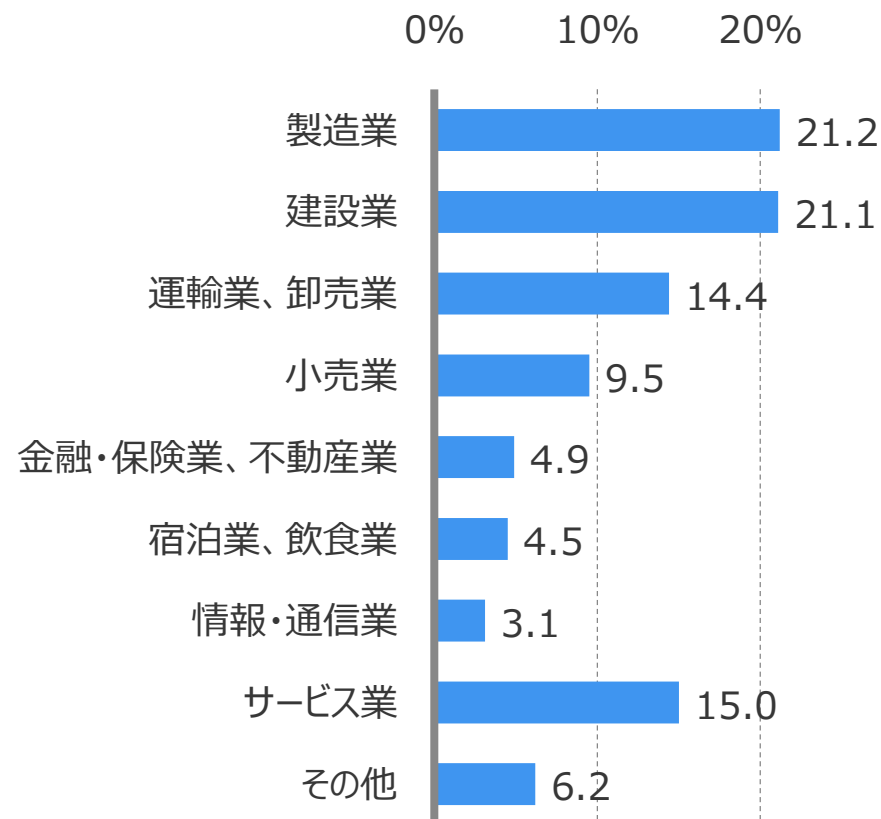
2. 回答事業者の属性（従業員数、業種）

- 回答事業者の従業員数は「5人以下」（35.3%）と「6～20人」（34.1%）がともに3割台半ばで、「21～50人」（15.5%）と「51人以上」（15.0%）がともに1割台半ばとなっている。
- 業種は「製造業」（21.2%）と「建設業」（21.1%）がともに高く、次いで「サービス業」（15.0%）、「運輸業、卸売業」（14.4%）などが続いている。

(n=1,005)



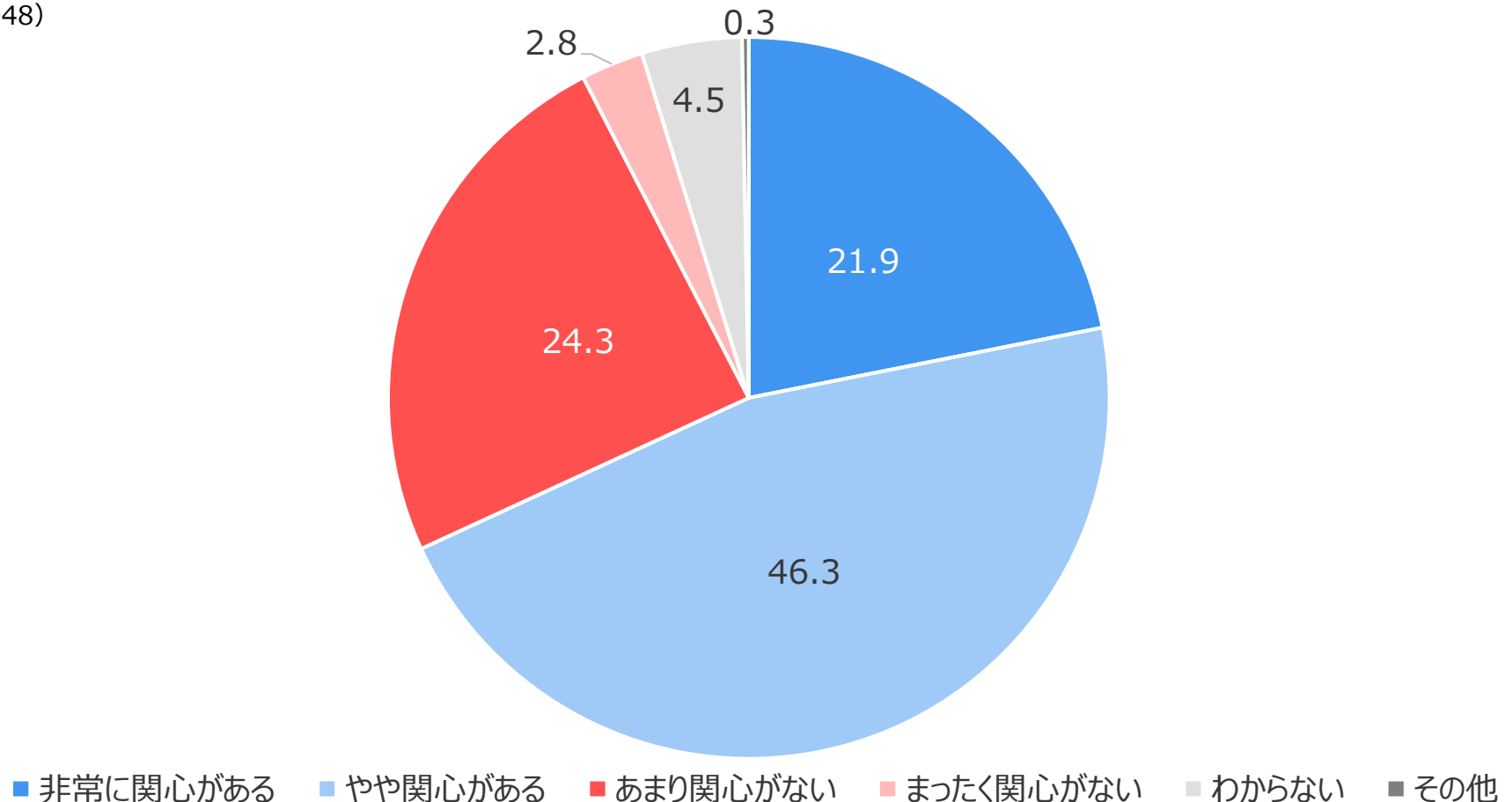
(n=957)



3. SDGsについての関心

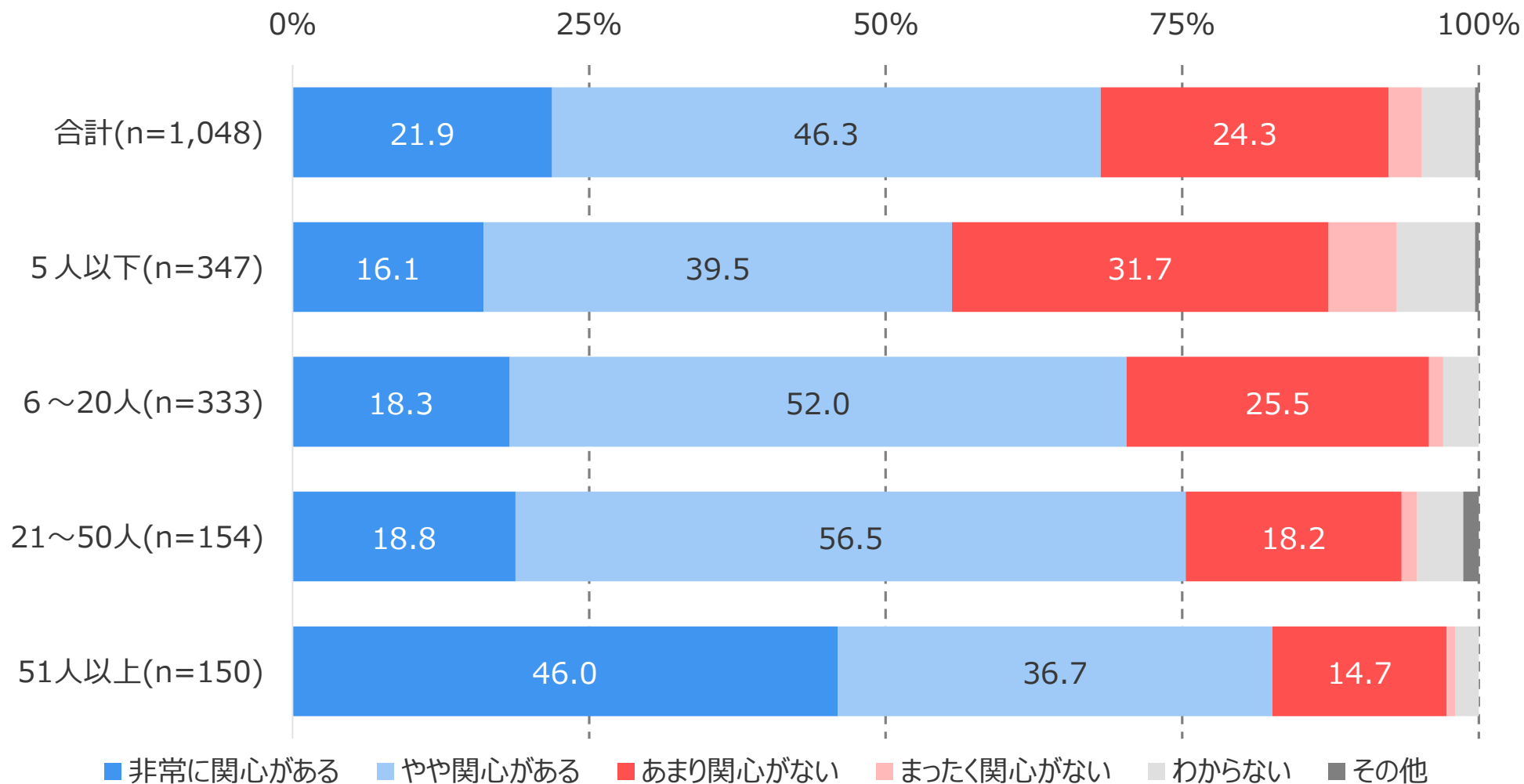
- 【問1 貴社はSDGsについて関心はどのくらいありますか】と尋ねたところ、「非常に関心がある」とする割合が21.9%、「やや関心がある」が46.3%で、2つを合わせると7割弱（68.2%）が『関心あり』と回答している。
- 一方、「あまり関心がない」が24.3%、「まったく関心」が2.8%で、2つを合わせると3割弱（27.1%）が『関心なし』としている。

(n=1,048)



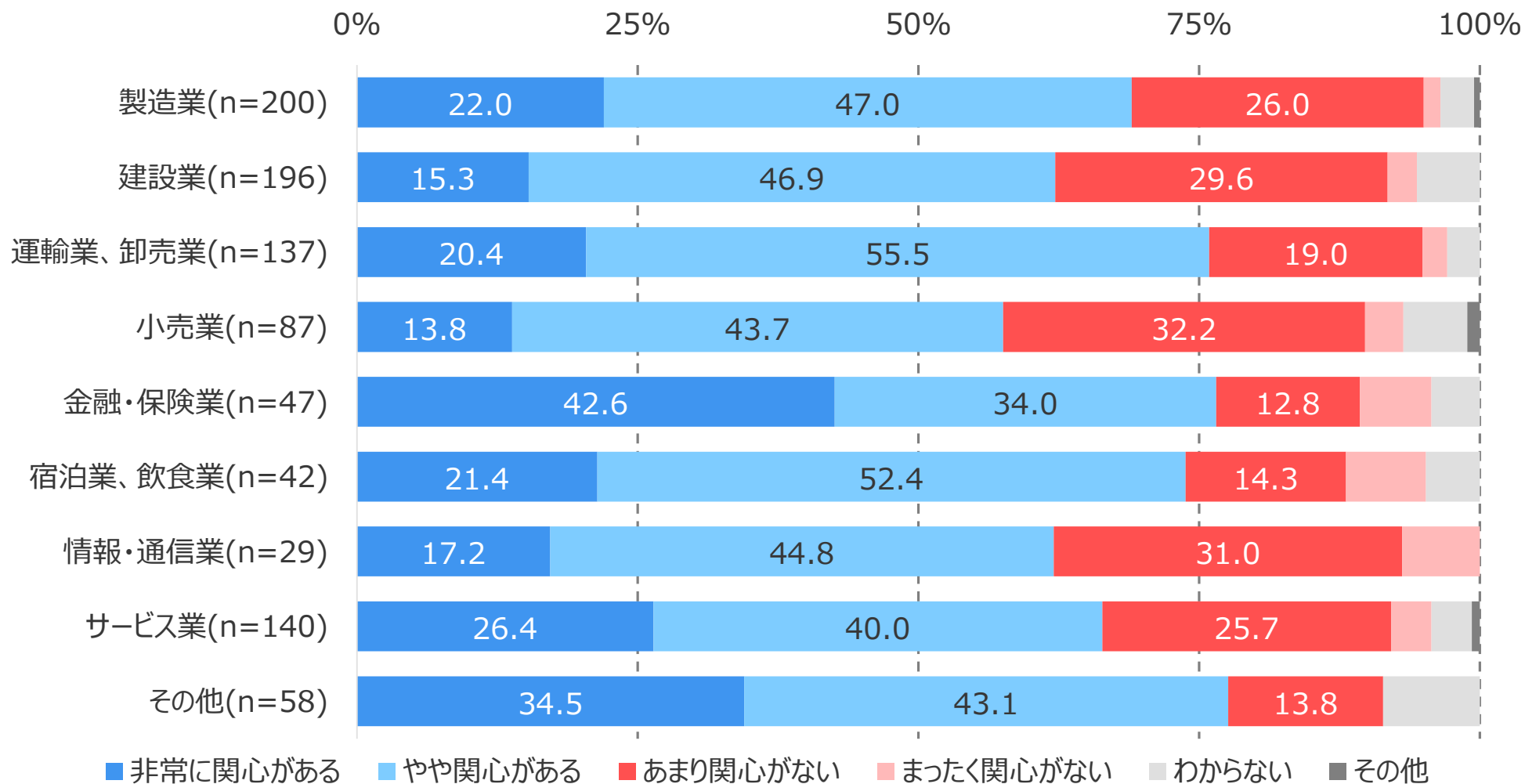
3-1 SDGsについての関心（従業員数別）

- SDGsについての関心について、従業員数別にみると、『51人以上』で「非常に関心がある」とする割合が他に比べて高くなっている。
- また、従業員数が多いほど「非常に関心がある」と「やや関心がある」の2つを合わせた割合が高くなっている。



3-2 SDGsについての関心（業種別）

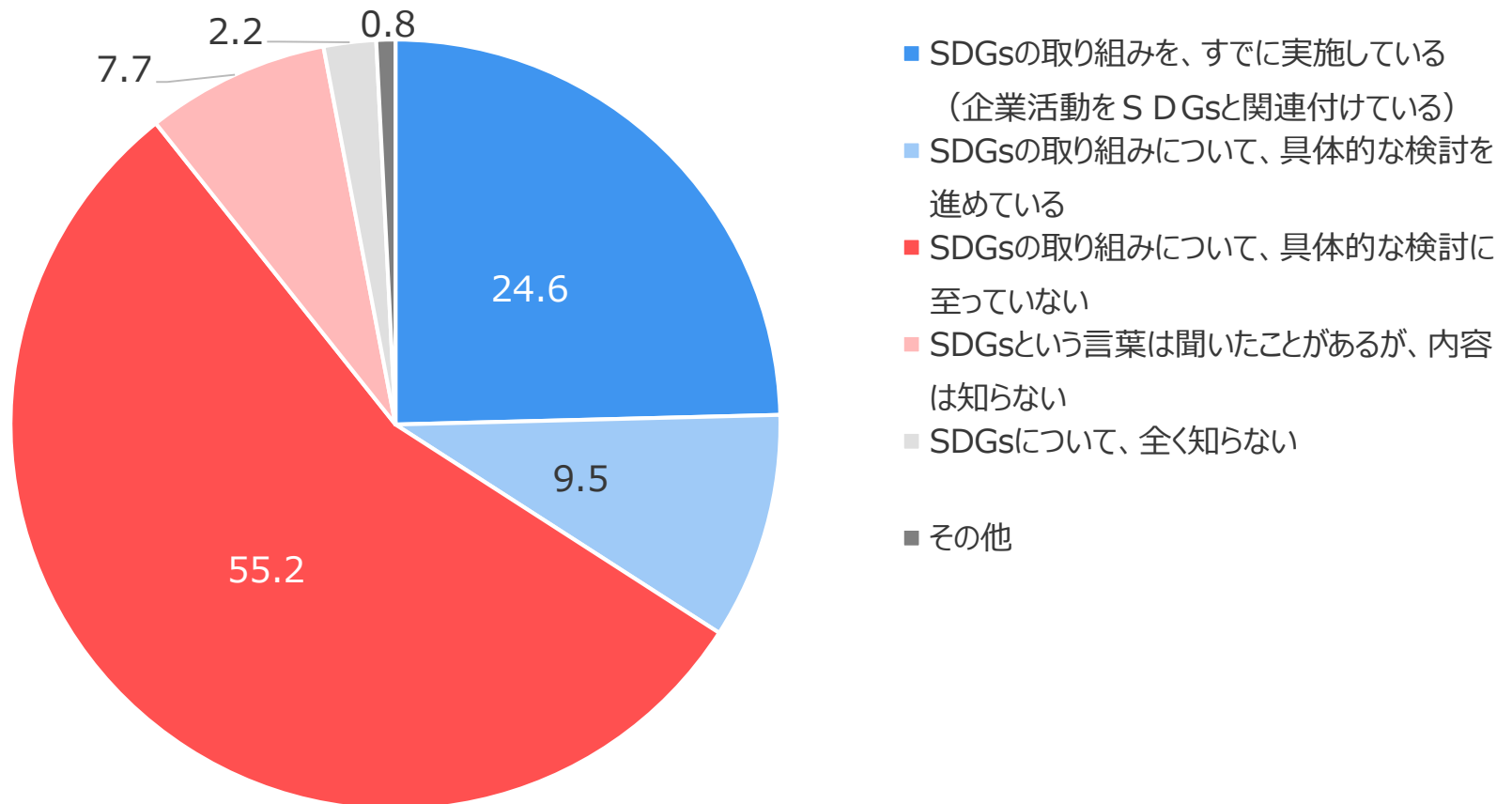
- SDGsについての関心について、業種別にみると、『金融・保険業』と『その他』で「非常に関心がある」とする割合が他に比べて高くなっている。
- また、「非常に関心がある」と「やや関心がある」の2つを合わせた割合をみると、『金融・保険業』と『運輸業、卸売業』『宿泊業、飲食業』『その他』が他の業種に比べて高くなっている。



4. SDGsの認知度・対応状況

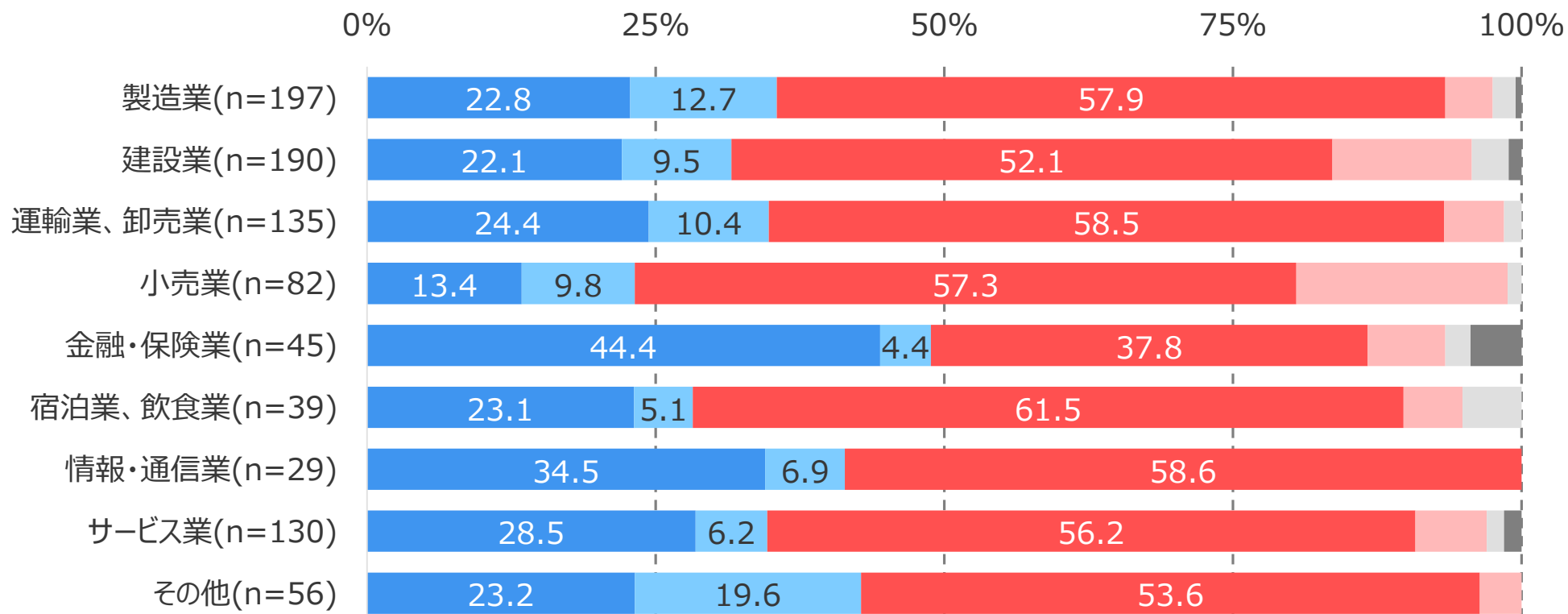
- 【問2 貴社におけるSDGsの認知度・対応状況はどの段階ですか】と尋ねたところ、「SDGsの取り組みについて、具体的な検討に至っていない」とする割合が55.2%で最も高くなっている。
- 一方、「SDGsの取り組みを、すでに実施している（企業活動をSDGsと関連付けている）」が24.6%、「SDGsの取り組みについて、具体的な検討を進めている」が9.5%で、2つを合わせると35.1%となり、SDGsの取り組みに前向きなのは3割台半ばとなっている。

(n=1,010)



4-1 SDGsの認知度・対応状況（業種別）

- SDGsについての認知度・対応状況について、業種別にみると、『金融・保険業』で「SDGsの取り組みを、すでに実施している（企業活動をSDGsと関連付けている）」とする割合が他に比べて特になくなっている。



■ SDGsの取り組みを、すでに実施している（企業活動をSDGsと関連付けている）

■ SDGsの取り組みについて、具体的な検討を進めている

■ SDGsの取り組みについて、具体的な検討に至っていない

■ SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない

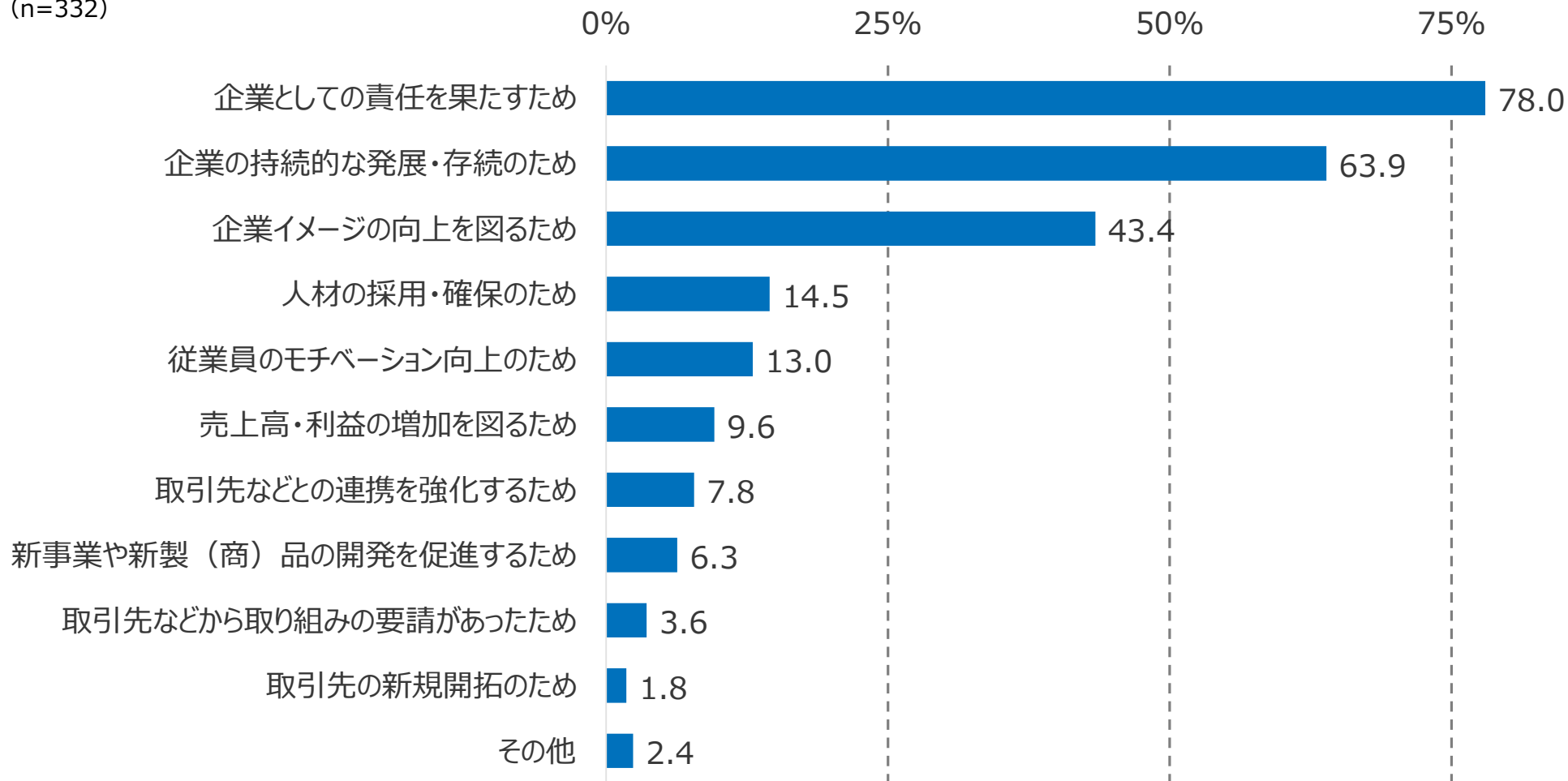
■ SDGsについて、全く知らない

■ その他

5. SDGsに取り組むまたは検討する目的

- 問2で「SDGsの取り組みを、すでに実施している（企業活動をSDGsと関連付けている）」または「SDGsの取り組みについて、具体的な検討を進めている」と回答した事業者に対し、【問3 貴社がSDGsに取り組むまたは検討する目的（3つまでの複数回答）】を尋ねたところ、「企業としての責任を果たすため」（78.0%）の割合が最も高く、次いで「企業の持続的な発展・存続のため」（63.9%）、「企業イメージの向上を図るため」（43.4%）が続いている。

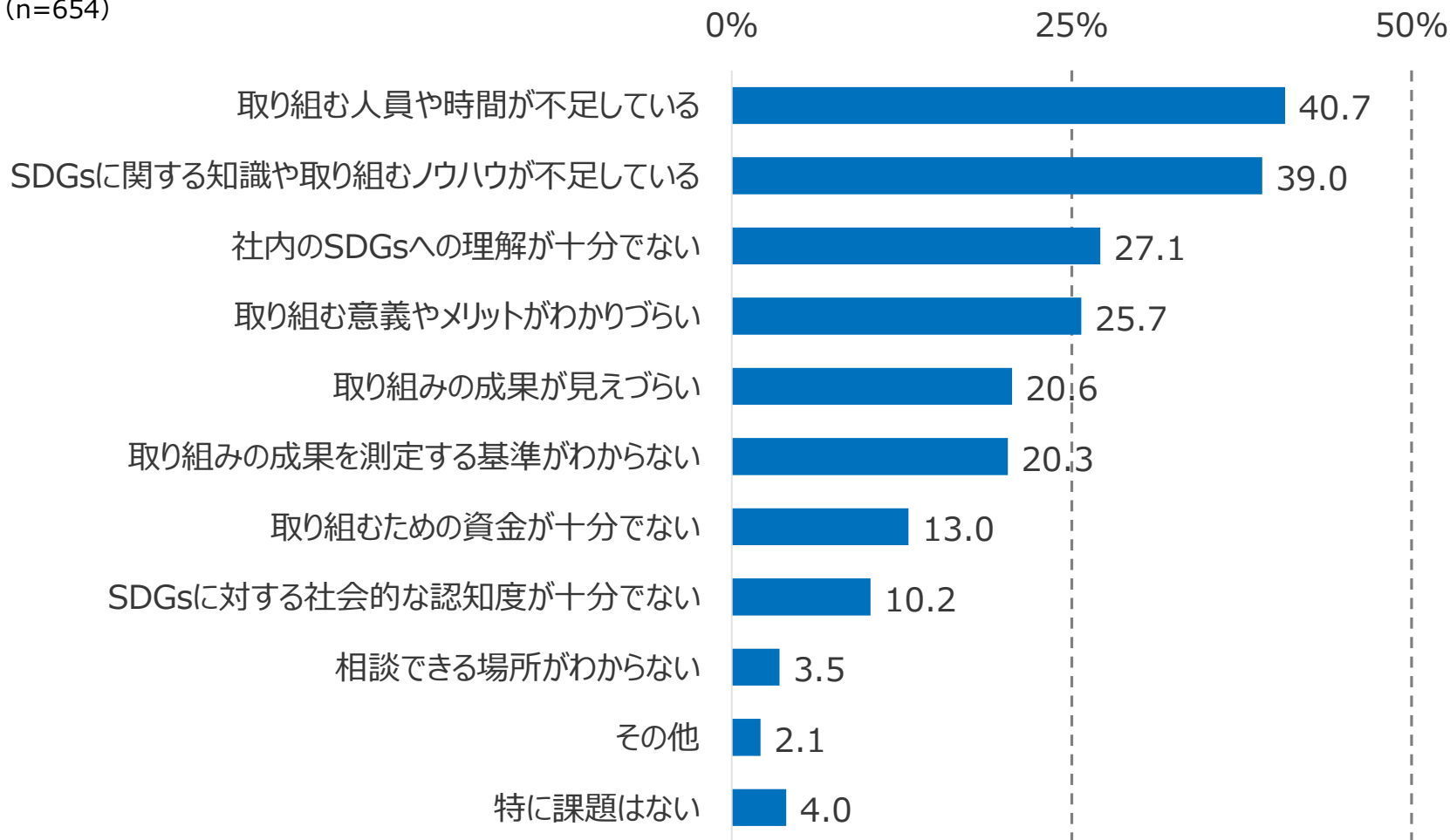
(n=332)



6. SDGsに取り組むうえでの課題または取り組まない理由

- 問2で「SDGsの取り組みについて、具体的な検討に至っていない」「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」「SDGsについて、全く知らない」「その他」のいずれかを回答した事業者に対し、【問4 貴社がSDGsに取り組むうえでの課題または取り組まない理由（3つまでの複数回答）】を尋ねたところ、「取り組む人員や時間が不足している」（40.7%）と「SDGsに関する知識や取り組むノウハウが不足している」（39.0%）の割合がともに高くなっている。

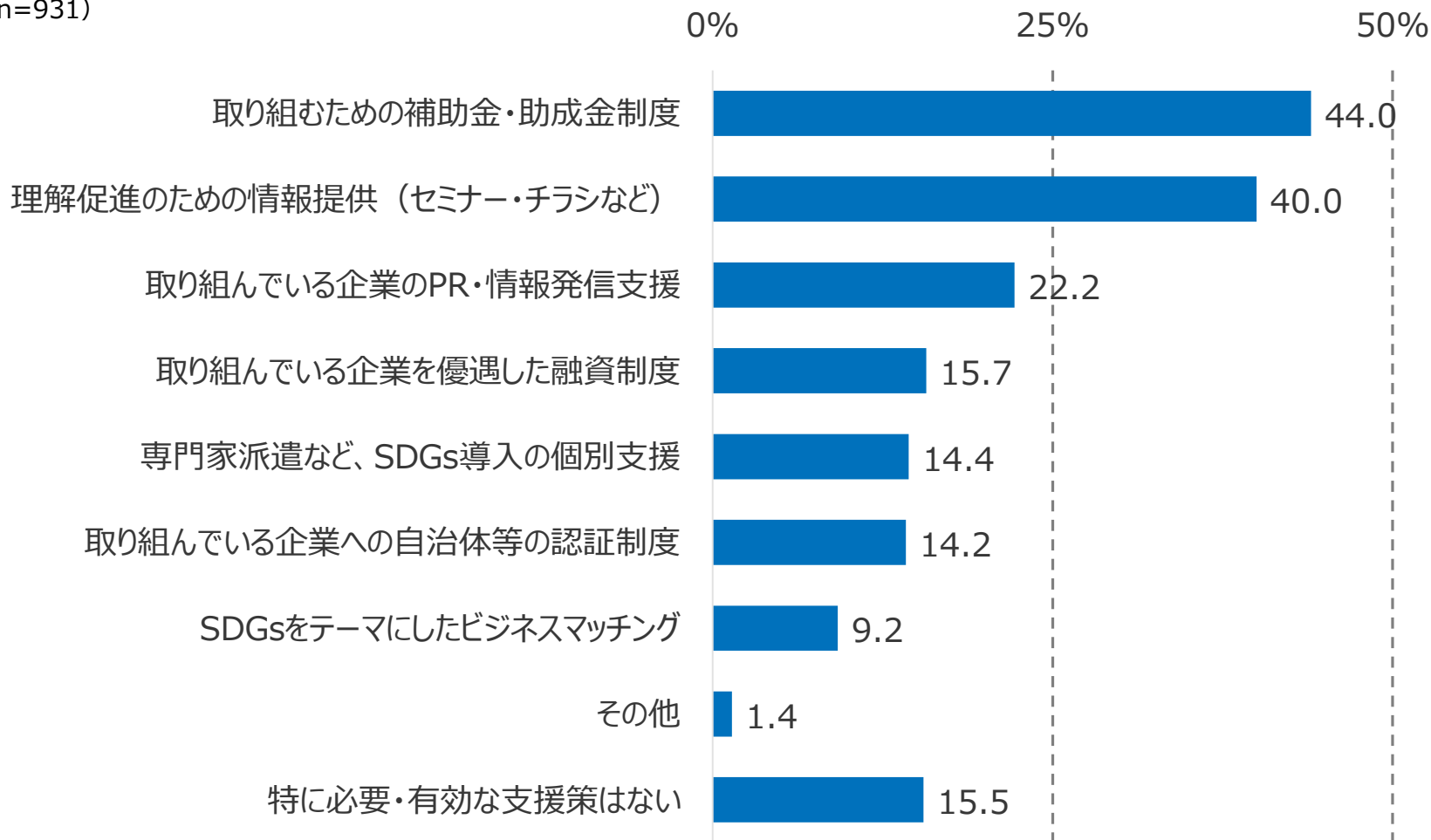
(n=654)



7. SDGsに取り組むうえで必要・有効だと思う支援策

- 全事業者に対し【問5 貴社がSDGsに取り組むうえで必要・有効だと思う支援策（3つまでの複数回答）】を尋ねたところ、「取り組むための補助金・助成金制度」（44.0%）と「理解促進のための情報提供（セミナー・チラシなど）」（40.0%）の割合がともに高くなっている。

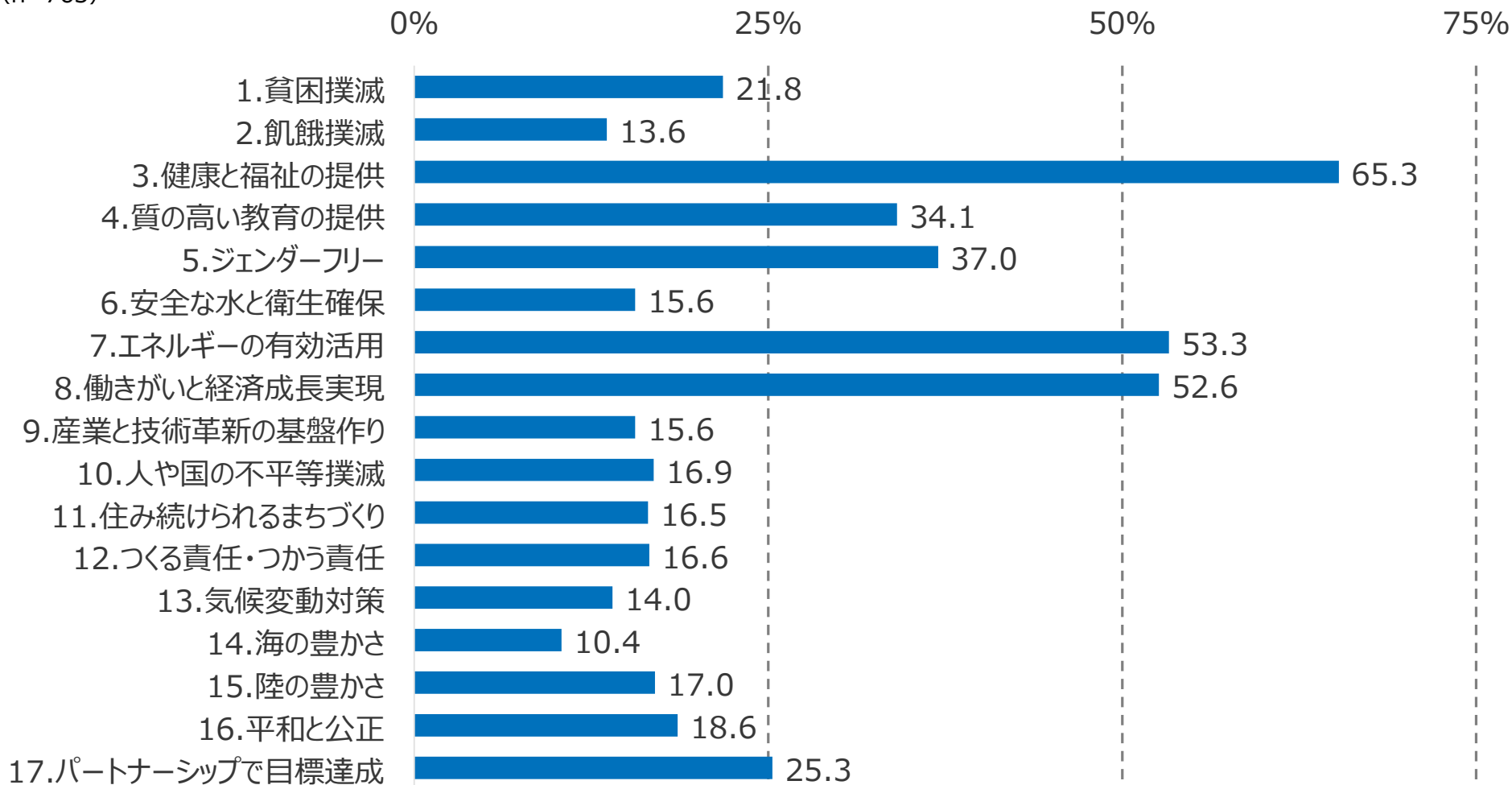
(n=931)



8. 行なっているSDGsに同一・類似の取り組み

- 【問6 SDGsが定める17分野のゴールについて、貴社で行なっている同一または類似の取り組み（複数回答）】を尋ねたところ、「健康と福祉の提供」（65.3%）が最も高く、次いで「エネルギーの有効活用」（53.3%）、「働きがいと経済成長実現」（52.6%）が続いている。

(n=763)



9. SDGsの具体的な内容等（自由回答）

- 【問7 貴社で取り組んでいるSDGsの具体的な内容や課題、効果などをお聞かせください（自由回答）】と尋ねたところ、133件の回答が寄せられた。主な内容は以下のとおりとなっている。

具体的な内容	従業員数	業種
使用済み切手、ハガキの寄付。使い捨て容器、カップ使用を控える（経費削減）。公園等の清掃活動に参加。定期的な健康診断など	6～20人	飲食業
認可外保育園を設立中で今の社会に合った働き方に対応する保育それに伴うシングルマザーなどに対する配慮など、子どもの貧困撲滅に取り組んでいます。	6～20人	飲食業
子供食堂への協賛等を通し地域活動に貢献している各団体を応援することで明るく健全な社会に発展することを願っています。女性の活躍推進については今後も取り組むべき課題と考えます。	101～300人	小売業
定期的な健康診断の実施。ノー残業日の設定等	101～300人	製造業
尾瀬の木道を再利用した用紙の積極的使用とその印刷費用の一部を尾瀬の環境保護活動へ寄付。植物性インキの利用、製造工程における環境負荷物質の削減。※コスト増をいかにするかが課題	5人以下	製造業
象牙に変わる新製品の開発次世代素材CNF(セルローナファイバー)を使用する事により、環境への負荷軽減。CO2排出量削減。(カーボンニュートラル)全て植物由来のCNFを活用する為。	6～20人	製造業
新潟県SDGs推進建設企業登録制度に参画。CO2排出量の削減、男性の育休取得推進、労働災害の撲滅を目標に掲げている。	21～50人	建設業
無駄な材料の発注を控えゴミの排出量を削減。社有車使用時相乗りを進めて排気ガスの削減に努めている。	21～50人	製造業
切粉や廃油のリサイクル	5人以下	製造業
SDGs委員会の設置、社内啓蒙活動の実施、植樹活動や町内清掃、エコキャップ活動等の実施。社員のSDGsに対する認識が高まり、各種活動にも積極的な参加が見られ、社内コミュニケーションの良化にも効果が出てきている。。	21～50人	建設業
小学5年生のSDGsの授業とからめ、廃傘を集めてもらい、洗浄を障害者施設の方に仕事としてお願いし、その生地を使用してエコバックを作成しています。	6～20人	製造業